

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で gpjimu@asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他 (待遇など)

京都大学基礎物理学研究所教授または 助教授

1. 教授または助教授 1 名
3. 宇宙物理学
5. (1) 2001 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期に着任されることを希望します。
(2) 5 ~ 10 年
7. ○履歴書、○発表論文リスト (主要論文 5 点以内に印を付けること、○前項で印を付けた論文の別刷り (5 点以内、コピー可)、○研究歴、○就任した場合の研究計画、○応募する職名 (教授または助教授) を明記すること、○着任可能時期、○自薦の場合は上記の書類各 2 通、他薦の場合は推薦書と上記の書類各 2 通
8. 2000 年 10 月 31 日(火)必着
9. (1) 〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学基礎物理学研究所
所長 益川 敏英
(2) 益川敏英 Tel: 075-753-7033 (直通)
11. 決定時期：2001 年 1 月下旬

研究会・集案案内

国立天文台野辺山観測所特別公開のおしらせ

文部省国立天文台
電波天文学研究系
野辺山宇宙電波観測所
野辺山太陽電波観測所

当観測所では、天文知識の普及と観測所の仕事を皆様に広く知っていただくため、下記の要領で観測所の諸設備を一般の方々にご公開いたしますので、ご案内申し上げます。

1. 日時：2000 年 9 月 23 日(土・祝日)
午前 10 時から午後 4 時まで
2. 内容
 - (1) 見学：通常の見学コースのほか、45 m 電波望遠鏡の観測室、10 m ミリ波干渉計の観測室、電波ヘリオグラフの観測室、観測データを処理する計算機等を見学できます。
 - (2) 展示：宇宙からやってくる電波をとらえる観測装置の仕組みや、最近の観測結果、そして電波天文の将来計画などを紹介します。
 - (3) 講演：(会場：南牧村農村文化情報交流館)
「宇宙誕生の謎に迫る — 南米アンデス巨大電波望遠鏡 (LMSA) 計画」
川辺良平 (国立天文台・電波天文学研究系)
11:00 ~ 12:00
「宇宙最大の爆発：ガンマ線バーストの謎に迫る」
戸谷友則 (国立天文台・理論天文学研究系)
13:00 ~ 14:00
「人類はいつまで人間いられているか?」
森本雅樹 (兵庫県立西はりま天文台公園)
14:30 ~ 15:30
 - (4) その他：質問コーナー等
3. 交通
 - ・鉄道：JR 小海線・野辺山駅下車徒歩 30 分
(駅からの無料シャトルバスがあります。)
 - ・車：中央自動車道
 - ・須玉インターより右折、国道 141 号を清里方面へ約 40 分
 - ・長坂インターより左折、清里高原有料道路を経て、国道 141 号を小海方面へ約 30 分
上信越自動車道
 - ・佐久インターより国道 141 号を清里方面へ約 80 分

☆ 入場無料／雨天決行

☆ 上履き（スリッパ等）を各自ご持参ください。

☆ 講演会は入場無料ですが、入場にあたっては整理券が必要です（整理券は当日各講演の30分前から会場受付と本館玄関前でお配りします）。整理券をお持ちの方は時間厳守でご来場ください。

☆ 天文台入口駐車場は、大型バス・障害者専用となります。その他の自家用車の方は、野辺山スキー場の駐車場をご利用ください（スキー場からの無料シャトルバスがあります）。

問い合わせ先

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台野辺山

Tel: 0267-98-4300 (代表)

ホームページ

<http://www.nro.nao.ac.jp/~openday/>

アンデス巨大電波望遠鏡で探る宇宙の始まり

ーハワイ島マウナケア山から南米チリ・アンデスへー

主催：国立天文台

共催：日本天文学会

日時：平成12年10月14日(土)

13時開場 13時30分開会 16時30分開会

会場：

科学技術館サイエンスホール（約400名）

（東京都千代田区北の丸公園2-1 地下鉄東西線「竹橋」駅下車7分）

内容：

はじめに 観山正見（国立天文台）

宇宙の育ち方 谷口義明（東北大学）

アンデスの巨大電波望遠鏡

ー南の宇宙に挑むー 福井康雄（名古屋大学）

（多くの質問にお答えする時間を設定しています）

参加方法：

平成12年9月29日(金)必着ではがき・ファックス・電子メールなどで応募を受け付け、先着順に折り返し参加票を郵送しますので、申し込みの時には郵便番号、住所、氏名を明記して下さい。

（席に余裕のある場合には当日参加も受け付けます。）

参加費：無料

応募先：〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台公開講演会係

Fax: 0267-98-3579

e-mail: koen@nro.nao.ac.jp

問い合わせ先：国立天文台天文情報公開センター広報普及室

Tel: 0422-34-3688（平日9時から18時まで）

<http://www.nro.nao.ac.jp/~lmsa>

世話人：宮脇亮介（福岡教育大学）、水野亮（名古屋大学）、関本裕太郎（国立天文台）

この講演会の趣旨

LMSA (Large Millimeter Submillimeter Array: 大型ミリ波サブミリ波干渉計) 計画は、南米チリのアンデス高原にミリ波・サブミリ波を観測する電波干渉計（愛称：アンデス巨大電波望遠鏡）を建設する計画です。ハワイ島マウナケア山に建設されたすばる望遠鏡の初期成果とあわせて、このアンデス巨大電波望遠鏡計画を一般の方々に紹介するために公開講演会を企画しました。

アンデス巨大電波望遠鏡は、野辺山45m鏡や野辺山ミリ波干渉計といった従来の電波望遠鏡に較べてはるかに高い性能を持ち、0".1-0".01 (1"は1°の1/3600に相当する角度単位) という高い角度分解能で、光では見られない天体の諸現象を透過力の強い電波をつかって克明に調べることが可能になります。すばる望遠鏡の成果とあわせて、この望遠鏡によって、宇宙の進化、星や惑星の形成などを探ることが出来ます。また、米国やヨーロッパとの国際協力によって、さらに高性能な望遠鏡となるように計画しています。

本講演会では、アンデス巨大電波望遠鏡によって期待される成果をすばる望遠鏡の成果とあわせて分かり易く説明する予定です。

第50回科学講演会のご案内

と き：平成12年9月20日(水) 開演 18:00

終演 20:45

ところ：有楽町朝日ホール（有楽町マリオン11階）

東京都千代田区有楽町2-5-1 (JR有楽町駅前)

テーマ：今、材料研究が面白い

“青色発光素子はいかにして創られたか”

演題(1) 青色発光素子を求めて

ー窒化物半導体と完全結晶ー

名古屋大学名誉教授・名城大学理工学部教授
赤崎 勇

(2) 完全結晶への挑戦

ー結晶成長メカニズムの理解から欠陥を制御するー

東京大学名誉教授・名城大学理工学部教授
西永 頌

その他：入場無料、定員630名（当日会場先着順・開場17:30）

* 予約の必要はありません。

*ご来聴の方には、後日講演記録を進呈いたします。
主催：(財)東レ科学振興会 (Tel: 047-350-6103)

第20回「誘導制御技術調査研究会」
見学・講演会
—国立天文台の重力波望遠鏡—

主催：計測自動制御学会 制御部門
企画：誘導制御技術調査研究会
協賛：日本航空宇宙学会，日本測地学会，日本天文学会

今回は、世界に先駆けて運転を開始した国立天文台の重力波望遠鏡 TAMA300 について、見学と講演会を開催します。TAMA300 は基線長 300 m のファブリペロー共振器を腕とするマイケルソン干渉計で、天文台構内に設置されています。要求される高感度を実現するために開発された各種の先端技術もご紹介いただけます。この分野に関心のある多数の技術者、研究者の参加をお待ちしています。

日時：平成 12 年 9 月 6 日(水)
14:00 ~ 16:30
場所：国立天文台三鷹キャンパス内
すばる解析棟 1 階 大セミナー室
交通：京王線調布駅より、武蔵境もしくは武蔵小金井行きバスで 15 分
三鷹キャンパスへのアクセスは、
<http://www.nao.ac.jp/Map/index-j.html> をご覧ください

講演題目：「動き出した重力波望遠鏡 TAMA300」
国立天文台 藤本真克 教授
定員：40 名 (申込着順，定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費：無料
参加申込：参加希望の方は、名前、所属、連絡先（電話、ファックス番号等）を明記の上、第 20 回「誘導制御技術調査研究会」見学・講演会参加希望と書いて下記宛先まで、なるべく E-mail にてお申し込み下さい。参加を登録された方には、こちらから連絡はいたしませんので、上記場所にご集合下さい。
(社)計測自動制御学会 部門担当
Tel: 03-3814-4121,
Fax: 03-3814-4699,
e-mail: bumon@sice.or.jp

研究助成

2001 年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究助成候補者の推薦依頼

「女性科学者に明るい未来をの会」から標記の依頼が届いております。詳細は下記事務所までお問い合わせ下さい。

猿橋賞

1. 本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者（ただし、下記の推薦締切日で 50 歳未満）に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金（30 万円）をそえます。
3. 本賞の贈呈は 1 年 1 件（1 名）です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（400 字程度）、略歴、主な業績文献リスト、主な論文別刷 10 編程度及び推薦者氏名・肩書きをそえて、本会事務所までお送りください。
5. 締切は 2000 年 11 月 30 日（必着）。
6. 第 21 回の賞贈呈式は、2001 年 5 月、東京において行う予定です。

研究助成

1. 海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者に対し、研究助成をいたします。
2. 助成金は 1 件 10 万円とし、年に数件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者（各締切日において満 40 歳未満）の略歴、研究業績、国際会議名（主催団体、開催場所、年月日）、発表論文題目、推薦理由等を記入して、下記事務所までお送りください。
4. 締切は 2000 年 11 月末日と、2001 年 4 月末日の 2 回。

★なお、最近 3 年間の猿橋賞受賞者は次の通りです。
第 18 回（1998 年）
千葉大学大学院自然科学研究科教授 西川恵子博士
「超臨界流体の研究」
第 19 回（1999 年）
東京医科大学助教授 持田澄子博士
「神経伝達物質の放出機構の研究」
第 20 回（2000 年）
東京大学大学院農学生命科学研究科助教授
中西友子博士
「植物における水及び微量元素の挙動」

事務所：女性科学者に明るい未来をの会
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

Tel / Fax: 03-3330-2455

★提出用紙は日本天文学会事務室に用意してあります。

会務案内**『別姓使用協力を要請する手紙』の発送について**

日本天文学会および日本学術会議天文学研究連絡委員会では、天文学研究者（天文学会員）のいる大学・研究機関あてに、別姓使用の協力を要請する手紙を出すことになりました。これは昨年11月に天文学会で行った天文学分野での女性研究者問題アンケート調査の結果から、別姓使用に困難をきたす天文学研究者が多く存在し、研究上の支障となっていることが判明したことをうけたものです。

この手紙の目的は、常勤、非常勤、教職員、ポストドク、院生、性別を問わず、研究上で使用する名前が戸籍名と違う場合、その名前の円滑な使用ができるように、各大学・研究機関に協力を要請するものです。

手紙の送付を希望（所属大学・研究機関へ郵送またはコピーを自分あてに郵送）する方は、天文研連幹事加藤万里子（mariko@educ.cc.keio.ac.jp）までお問い合わせ下さい。（詳しい情報は <http://sunrise.hc.keio.ac.jp/~mariko/feminism/bessei.letter> にあります）

日本天文学会理事長 尾崎 洋二（長崎大学）

日本学術会議会員天文学研究連絡委員会委員長
（『女性科学者の環境改善の推進』特別委員会委員）
池内 了（名古屋大学）

第18期日本学術会議会員について

日本学術会議会員推薦管理会より、日本天文学会から推薦した池内 了氏（天文学研究連絡委員会）が第18期日本学術会議会員に決定したとの通知がありましたので、会員の皆様にお知らせ致します。

庶務理事 大石雅寿

正会員各位

社団法人 日本天文学会 理事長 尾崎洋二

2000年度秋季通常総会開催のお知らせ

一同封の返信用葉書で10月2日（月）までに到着するようご投票を！—

下記の通り2000年度秋季総会を開催いたしますので、ご出席下さるようご案内申し上げます。

総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5分の1以上の出席が必要です（定款第42条）。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の(1)または(2)のどちらかの対応して下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

- (1) 天文月報9月号にとじ込みの総会返信用葉書（以下「葉書」と呼ぶ）を用いて賛否の意志を表明する。
- (2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。「葉書」は、10月2日（月）までに天文学会事務室に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない会員は、「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。（委任状はとくに指定の用紙はありません。）

賛否の意志表示をされる方は、第1号、第2号、第3号、及び第4号の議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務室宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所（または勤務先）の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票。
- 5) 2重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所（または勤務先）の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の「理事長」または「議長」と書かれたもの。

2000 年度秋季総会議題

日 時：2000 年 10 月 6 日(金) 16 時 00 分～17 時 30 分

場 所：群馬県総合教育センター講堂 (A 会場)

議 案

第 1 号議案：新役員 (理事・監事) の承認

第 2 号議案：選挙管理委員の承認

第 3 号議案：2001 年度事業計画 (案)

第 4 号議案：2001 年度収支予算 (案)

議案の内容は以下をご参照下さい。

【第 1 号議案】

新役員 (理事・監事)

(任期：2001 年 1 月 1 日～2002 年 12 月 31 日)

1) 理事

理 事 長：田原博人

副理事長：唐牛 宏，松田卓也

庶務理事：郷田直輝，大石雅寿 (留任)

会計理事：松原英雄，立松健一 (留任)

PASJ 理事：大橋隆哉

月報理事：上野宗孝 (留任)

年会実行理事：茂山俊和

天文教育理事：加藤万里子

年会開催地理事：松元亮治 (千葉大学)，黒田武彦

(西はりま天文台)，吉田龍生 (茨城大学)，

山内 誠 (宮崎大学)

2) 監事

奥田治之，小杉健郎

【第 2 号議案】

選挙管理委員

(任期：2001 年 1 月 1 日～2002 年 12 月 31 日)

関井 隆 (委員長)，新井宏二，柏川伸成，辻本拓司，

藤田 裕

【第 3 号議案】

2001 年度事業計画 (案)

2001 年度 (2001 年 1 月 1 日～2001 年 12 月 31 日)

1. 出版物の刊行

1) 欧文研究報告

第 53 巻 1 号～第 53 巻 6 号，隔月刊，A 4 版，

発行部数 1750，年間 1100 ページ，電子化出版

2) 天文月報

第 94 巻 1 号～第 94 巻 12 号，月刊，B 5 版，発行部数 3400，毎号 52 ページを予定

3) 年会講演予稿集

春・秋季年会の講演予稿集 2 巻，発行部数各 800 を予定。

2. 年会・総会の開催

1) 春季年会を 2001 年 3 月 26 日(月)から 28 日(水)にわたって，千葉大学にて開催する。年会期間中に通常総会と昨年初めて開始したジュニアセッションを開催する。又，公開講演会を 3 月 25 日(日)に予定。

2) 秋季年会を 2001 年 10 月 4 日(木)から 6 日(土)にわたって，西はりま天文台がホストとなって開催する。又，年会期間中に通常総会を開催する。公開講演会を 10 月 7 日(日)に予定。

3. 新役員 (理事・監事)

(任期：2001 年 1 月 1 日～2002 年 12 月 31 日)

1) 理事

理事長：田原博人

副理事長：唐牛 宏，松田卓也

庶務理事：郷田直輝，大石雅寿 (留任)

会計理事：松原英雄，立松健一 (留任)

PASJ 理事：大橋隆哉

月報理事：上野宗孝 (留任)

年会実行理事：茂山俊和

天文教育理事：加藤万里子

年会開催地理事：

松元亮治 (千葉大学)，黒田武彦 (西はりま

天文台)，吉田龍生 (茨城大学)，山内 誠

(宮崎大学)

2) 監事

奥田治之，小杉健郎

4. 評議員会，理事会

1) 評議員会

1 月中旬，7 月上旬，及び春・秋季年会会場にて開催予定

2) 理事会

1 月上旬，7 月上旬，及び春・秋季年会会場にて開催予定

5. 各賞の授与

1) 天体発見賞・天体発見功労賞

新天体の発見者に対して天体発見賞・天体発見功労賞を授与する。

2) 日本天文学会研究奨励賞

特に顕著な研究成果を挙げた若手研究者を選定し研究奨励賞を授与する。

3) 日本天文学会林 忠四郎賞

天文学の分野において独創的で，かつ寄与するところの大きい研究に対して林 忠四郎賞を授与

する。

- 4) 日本天文学会欧文報告論文賞
日本天文学会欧文報告に掲載された論文の中から、特に優れた論文の著者に対して欧文報告論文賞を授与する。
 - 5) 天文学に関連した民間の賞に、優れた研究者を積極的に推薦する。
6. 助成金
- 1) 内地留学奨学金受給者の募集（主にアマチュアを対象）をし、10月に選考し奨学金を支給する。
 - 2) 早川幸男基金により、若手天文研究者の海外に於ける観測、国際共同研究、もしくは研究発表のための渡航費の援助を行う。
 - 3) IAU 京都総会記念基金より、わが国で開かれる国際研究集会の開催にあたり、会議出席の費用の捻出の困難な国からの参加者の参加費の援助を行う。
 - 4) 賛助会員会費により学生の年会発表者の旅費補助を行う。
7. 委員会及び委員
- （任期：2001年1月1日～2002年12月31日）
- 1) 欧文研究報告編集顧問
池内 了，稲垣省五，木下 宙，桜井 隆，佐藤勝彦，佐藤文隆，祖父江義明，田原博人，土佐 誠，長瀬文昭
 - 2) 欧文研究報告編集委員会
大橋隆哉（委員長），有本信雄，柴橋博資，中井直正，蜂巢 泉，花岡庸一郎，花見仁史，嶺重 慎，山田 亨
 - 3) 天文月報編集委員会
上野宗孝（編集長），伊藤孝士，小野智子，上田暁俊，太田耕二，大石奈緒子，齊藤芳隆，土橋一仁，内藤統也，藤田 裕
 - 4) 年会実行委員会
茂山俊和（委員長），犬塚修一郎，上田佳宏，嶋作一大，加藤万里子，戸谷友則，山岡 均，吉川 真
 - 5) 天文教育委員会
加藤万里子（委員長），大島 修，沢 武文，田 光江，毛利勝廣，山縣朋彦，吉川 真
 - 6) 選挙管理委員会
関井 隆（委員長），新井宏二，柏川伸成，辻本拓司，藤田 裕
 - 7) 林忠二郎賞選考委員会（欧文報告論文賞を含む）
尾崎洋二，奥田治之，田原博人（ex-officio），海部宣男，佐藤勝彦，山下広順
 - 8) 研究奨励賞選考委員会
蜂巢 泉（委員長），大橋隆哉，田村元秀，坪井昌人，嶺重 慎
 - 9) 天体発見賞選考委員会
山岡 均（委員長），渡部潤一，西城恵一，中野主一，相馬 充
 - 10) 内地留学奨学生選考委員会
西村 昌能（委員長），加藤太一，河北秀世，中村泰久，鈴木文二
 - 11) 早川幸男基金選考委員会
（IAU 京都総会記念基金選考委員会を含む）
須藤 靖（委員長），北本俊二，坪井昌人，福江 純，吉田重臣
 - 12) ネットワーク委員会
大石雅寿（委員長），田中培生，鈴木知治，川端拓信
 - 13) 天文教材小委員会
半田利弘（委員長），石田俊人，一本 潔，太田耕司，北本俊二，衣笠健三，柴田晋平，浜根寿彦，布施哲治
8. 後援事業
- 1) 学術団体等の天文関係諸企画に対して可能な限り後援・協賛をする。
9. その他
- 1) 「天文功労賞（仮称）」制度についての検討
 - 2) 2002～2005年度の評議員選挙
 - 3) 2002年度科学研究費補助金審査委員の推薦

●事務室だより●

学会事務室が9月末に移転します。

国立天文台三鷹のすばる解析研究棟1Fから、すぐ向かいの旧相関局テープ保管棟に移ります。

【第4号議案】

2001年度収支予算(案)

(2001年1月1日～2001年12月31日)

【一般会計】

収入の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
基本財産運用収入	50,000	90,000
基本財産利息収入	50,000	90,000
会費収入	34,215,000	33,680,000
正会員会費収入	18,990,000	18,180,000
学生会員会費収入	3,835,000	3,900,000
準会員会費収入	10,960,000	11,200,000
団体会員会費収入	430,000	400,000
事業収入	22,070,000	20,249,000
欧文研究報告発行事業収入	10,300,000	9,849,000
購読料	4,300,000	4,385,000
掲載料	4,000,000	3,664,000
別刷代	2,000,000	1,800,000
天文月報発行事業収入	4,820,000	4,700,000
購読料	900,000	900,000
別刷代	720,000	600,000
広告料	3,200,000	3,200,000
年会事業収入	6,950,000	5,700,000
予稿集頒布収入	2,800,000	2,300,000
参加費	3,900,000	3,150,000
雑収入	250,000	250,000
補助金等収入	6,700,000	4,700,000
文部省刊行補助金収入	6,000,000	4,000,000
公開講演会補助金収入	700,000	700,000
寄付金収入	20,000	10,000
寄付金収入	20,000	10,000
印税収入	2,500,000	2,200,000
星座早見印税収入	2,000,000	1,700,000
その他の印税収入	500,000	500,000
雑収入	1,050,000	400,000
受取利息	50,000	100,000
特別企画収入	200,000	100,000
その他の収入	800,000	200,000
特定預金収入	0	705,000
退職給与引当預金取崩収入	0	705,000
当期収入合計(A)	66,605,000	62,034,000
繰越収支差額	18,501,925	9,145,789
収入合計(B)	85,106,925	71,179,789

支出の部

(単位：円)

勘定科目	予算額	前年度 予算額
事業費	53,541,000	49,923,000
欧文研究報告発行事業費	26,220,000	23,203,000
直接出版費	16,000,000	14,400,000
別刷印刷費	1,640,000	800,000
人謝件費	5,350,000	5,000,000
送金	990,000	770,000
送料運搬費	2,070,000	2,083,000
消耗品費	120,000	100,000
雑費	50,000	50,000
天文月報発行事業費	19,921,000	19,870,000
直接出版費	11,720,000	11,700,000
別刷印刷費	600,000	580,000
人謝件費	1,040,000	1,030,000
送金	2,561,000	2,560,000
送料運搬費	3,100,000	2,900,000
消耗品費	500,000	600,000
雑費	400,000	500,000
年会事業費	7,400,000	6,850,000
予稿集印刷費	2,400,000	2,000,000
謝金	1,000,000	1,100,000
送料運搬費	500,000	500,000
会場費	1,200,000	1,200,000
消耗品費	300,000	500,000
人件費	1,200,000	1,050,000
雑費	200,000	500,000
旅費交通費	600,000	0
管理費	19,085,000	19,885,000
人件費	7,800,000	8,300,000
謝金	500,000	300,000
会議費	200,000	220,000
負担金	150,000	160,000
旅費	1,500,000	1,000,000
送金	1,000,000	1,300,000
什器備品費	1,500,000	1,300,000
消耗品費	1,100,000	1,100,000
印刷製本料	750,000	1,200,000
光熱水借料	250,000	260,000
賃借料	2,000,000	2,900,000
保険料	160,000	100,000
諸手数料	200,000	250,000
修繕費	300,000	300,000
書籍購入費	400,000	300,000
特別企画調整費	600,000	200,000
雑費	500,000	500,000
退職金支出	175,000	195,000
特定預金支出	0	705,000
退職給与引当預金支出	0	705,000
予備費	12,480,925	666,789
当期支出合計(C)	85,106,925	71,179,789
当期収支差額(A-C)	△18,501,925	△9,145,789
次期繰越収支差額(B-C)	0	0

収支予算(案)

(2001年1月1日～2001年12月31日)

【特別会計】

(単位：円)

会計種目	科目	予算額	前年度 予算額
学術交流費	収入の部		
	賛助会員会費収入	1,770,000	1,920,000
	受取利息	5,000	2,000
	当期収入合計(A)	1,775,000	1,922,000
	前期繰越収支差額	1,327,837	1,408,837
	収入合計(B)	3,102,837	3,330,837
	支出の部		
	学術交流費	2,000,000	2,000,000
	雑費	3,000	3,000
	当期支出合計(C)	2,003,000	2,003,000
	当期収支差額(A)-(C)	△228,000	△81,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	1,099,837	1,327,837	
内地留学 奨学金	収入の部		
	受取利息	28,000	20,000
	当期収入合計(A)	28,000	20,000
	前期繰越収支差額	4,107,000	4,390,000
	収入合計(B)	4,135,000	4,410,000
	支出の部		
	奨学金支出	250,000	250,000
	雑費	3,000	3,000
	旅費補助支出	50,000	50,000
	当期支出合計(C)	303,000	303,000
	当期収支差額(A)-(C)	△275,000	△283,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,832,000	4,107,000	
研究奨励賞	収入の部		
	寄付金収入	250,000	250,000
	受取利息	5,000	1,000
	当期収入合計(A)	255,000	251,000
	前期繰越収支差額	5,472,454	5,471,454
	収入合計(B)	5,727,454	5,722,454
	支出の部		
	研究奨励賞支出	200,000	200,000
	雑費	10,000	0
	旅費補助支出	50,000	50,000
	当期支出合計(C)	260,000	250,000
当期収支差額(A)-(C)	△5,000	1,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	5,467,454	5,472,454	

(単位：円)

会計種目	科目	予算額	前年度 予算額
早川幸男基金	収入の部		
	寄付金収入	1,000,000	500,000
	受取利息	90,000	130,000
	当期収入合計(A)	1,090,000	630,000
	前期繰越収支差額	18,550,000	16,933,987
	収入合計(B)	19,640,000	17,563,987
	支出の部		
	研究補助支出	2,700,000	2,000,000
	雑費	10,000	10,000
	当期支出合計(C)	2,710,000	2,010,000
	当期収支差額(A)-(C)	△1,620,000	△1,380,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	16,930,000	15,553,987	
林忠四郎賞	収入の部		
	受取利息	60,000	100,000
	当期収入合計(A)	60,000	100,000
	前期繰越収支差額	15,900,000	16,175,149
	収入合計(B)	15,960,000	16,275,149
	支出の部		
	林賞支出	300,000	300,000
	雑費	30,000	30,000
	旅費補助支出	50,000	50,000
	当期支出合計(C)	380,000	380,000
	当期収支差額(A)-(C)	△320,000	△280,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	15,580,000	15,895,149	
IAU記念基金	収入の部		
	受取利息	20,000	10,000
	当期収入合計(A)	20,000	10,000
	前期繰越収支差額	4,100,000	4,000,000
	収入合計(B)	4,120,000	4,010,000
	支出の部		
	雑費	0	5,000
	旅費補助支出	3,000,000	3,000,000
	当期支出合計(C)	3,000,000	3,005,000
	当期収支差額(A)-(C)	△2,980,000	△2,995,000
	次期繰越収支差額(B)-(C)	1,120,000	1,005,000

(社) 日本天文学会へ、2000年4月4日から2000年7月12日までの間に入会された方、退会された方をお知らせします。

* 新入正会員 (43名)

宮崎真行	東大・大学院 (在学)	村上尚史	北大・大学院 (在学)
田口 光	県立ぐんま天文台	松井孝博	茨城大・大学院理工・ 自然機能科学 (在学)
辰巳大輔	国立天文台	日影千秋	東大・大学院理・物理 (在学)
中里 剛	筑波大 (在学)	小池 修	九州大・大学院理・基礎粒子 (在学)
二元和朗	東大 (在学)	沖浦真保子	東大 (在学) / 野辺山
内山泰伸	宇宙科学研究所	続 唯美彦	東大・大学院理 (在学)
岡田 祐	東大・大学院理・物理 (在学)	浅井 歩	京大・理・宇宙物理 (在学)
内田修二	茨城大・大学院理工・ 宇宙地球システム (在学)	衛藤 茂	京大・理・宇宙物理 (在学)
大石奈緒子	国立天文台	板垣和幸	北見工業大 (在学)
高橋弘充	東大 (在学)	河合篤史	京大・理・宇宙物理 (在学)
Edwards Philip	宇宙科学研究所	佐藤潤一	東北大 (在学)
上田暁俊	国立天文台	町田正博	北大・理 (在学)
山本宏昭	名大・大学院理・物理 (在学)	中西裕之	東大・大学院理・ 天文学教育研究センター (在学)
松村一雄	(株) カナメ電研	勝野由夏	東北大・大学院理・天文 (在学)
梅津敬一	東北大・大学院理・天文 (在学)	磯部洋明	京大・理・宇宙物理 (在学)
前田啓一	東大・大学院理・天文 (在学)	須田拓馬	北大・理 (在学)
望月治子	東大・大学院理 (在学)	小出直久	名大・大学院理 (在学)
岸 幸正	大阪府立大・大学院総合科学 (在学)	久保雅仁	東大・大学院理・天文 (在学)
千田篤史	京大・大学院理・宇宙物理 (在学)	坂本貴紀	東京理科大・理・物理 (在学)
植野 優	京大・大学院理・宇宙物理 (在学)	石原大助	東大・大学院理・天文 (在学)
小織雅和	北大・大学院 (在学)	栗田光樹夫	名大・大学院理・ (在学)
細川貴史	北大・大学院 (在学)		

* 新入準会員 (10名)

佐藤洋一	
五島正光	巣鴨中学高校
梅田秀之	東大・理・天文
篠原秀雄	埼玉県立三郷北高校
鈴木志乃	(有) フォトンクリエイト
上田 聡	鹿儿島県立博物館
大坂昌道	(株) 泉精器製作所
稲田将一	日本銀行
伊藤公紀	北海道情報大・経営情報
木村 薫	五島プラネタリウム

* 移籍会員 [準→正]
(1名)

薮下 信

* 退会正会員 (3名)

垂沢諒直
山本哲生
真野 悟

* 退会準会員 (10名)

飯塚高輝
草野 磐
清水康平
溝口有二
道城晶雄
牧野 哲
石黒 誠
富田文博
平 濟慈
堀田沙織

天文月報 第93巻9号付録：特集 磁気流体アウトフロー

編集委員 上野宗孝 (編集長), 伊藤孝士, 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一
 平成12年8月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
 定価 700円 (本体 667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
 TEL: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
 日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: gpjimu@asj.or.jp